



# グループ共通のIT基盤をクラウド化 パブリックとマネージドを使い分け

## マルチクラウド対応の「NSFITOS」を採用

### 背景

グループ内の連携を強化する経営方針の一環として、グループ各社のIT基盤を従来以上に共通化していくことにした。しかし、オンプレミスで運用していた従来のIT基盤は老朽化などによりたびたびトラブルを起こしていた。



シチズン時計株式会社  
情報システム部  
部長  
山崎 真一氏



シチズン時計株式会社  
情報システム部  
グループIT環境課  
課長  
後藤 義明氏



シチズン時計株式会社  
情報システム部  
グループIT環境課  
担当課長  
増田 洋氏

### ソリューション

オンプレミスのIT基盤をクラウド上に移し、シチズングループ全体で利用することを計画。その実現のため、クラウドサービスと運用アウトソーシングサービスを包括的に提供する「NSFITOS」を採用した。

### 成果

安定したクラウド上に構築した新しいIT基盤に、業務システムを順次移行中。2022年度までに、まずシチズン時計の約8割の業務システムを新IT基盤に移す予定だ。運用業務のアウトソーシングも進め、業務負荷を軽減している。

### オンプレミスのIT基盤に課題、クラウドへの移行を検討

国内最大の腕時計メーカーであるシチズン時計。前中期経営計画「シチズングローバルプラン2018」に基づき、グループ内連携を強化する施策の一環として、グループ共通IT基盤の再構築に取り組んだ。

これまでシチズングループの各社は、シチズン時計が提供するグループ共通のIT基盤と各社個別のIT基盤を併用していた。だが、グループ共通のIT基盤は老朽化などでトラブルが増え、各社のIT基盤と運用にはコスト削減余地が大きかった。そこでシチズン時計は、自社のIT基盤をオンプレミスからクラウドに移し、グループ共通のIT基盤として従来以上に活用してもらうことを計画した。クラウドへの移行に合わせ、運用業務の標準化とアウトソーシングによる効率化も検討した。

### AWSとabsonneのマルチクラウドを採用

シチズン時計は「パブリッククラウド・ファースト」の方針を掲げ、オンプレミスで運用している業務システムをパブリッククラウドのAmazonウェブサービス(AWS)に移行させることにした。しかし、既存のシステム環境からAWSに直接移行できないシステムが多いことから、移行が容易なマネージドクラウドを併用し、段階的に移行を進める計画だ。

同社はこれを実現するに当たり、マネージドクラウド「absonne」(アブソンヌ)と運用アウトソーシングを包括的に提供する日鉄ソリューションズ(以下、NSSOL)のサービス、「NSFITOS」(エヌエスフィッツ)を採用した。パブリッククラウドにも対応するマルチクラウドサービスであることと、日本製鉄グループの一員として製造業における豊富な導入実績や知見を持つ点が評価された。

### 新IT基盤では安定性が向上、業務の省力化も進む

新しいIT基盤の構築は2020年1月に開始し、同年12月に稼働した。信頼性の高いクラウド環境の利用により、課題となっていた運用の安定性は大幅に向上。シチズン時計は2023年3月までに、システムの約8割をクラウドに移行させる計画だ。

運用業務のアウトソーシング効果も大きい。ノンコア業務の移管により担当者が企画業務に注力できるようになり、デジタルトランスフォーメーションを強力に推進する環境が整った。また、従来は標準化された運用ルールや手順書がなく、業務の属人化を招いていたが、アウトソーシングする際に手順書を整備して問題を解消した。

今後はパブリッククラウドの利用割合を増やしつつ、グループ各社に新しいIT基盤の利用を促し、グループにおけるIT基盤の最適化とITガバナンス強化を目指す。

## Key to Success

グループ各社の情報システムに横串を通し、全体最適化を目指す——。シチズングループ全体のIT統括も担うシチズン時計情報システム部は、この大きな課題に取り組んだ。

「これまでグループ各社で情報システムを別々に構築・運用する部分が多かったのですが、今回のプロジェクトではグループ全体でIT基盤とその運用を共通化して、業務負荷やコストを抑えていくことが狙いです。一方で、グループ会社のシステムの3割ほどは当社のIT基盤から払い出した仮想サーバーで運用していたのですが、IT基盤の老朽化などに伴ってたびたびトラブルが起こるなど、安定したサービスを提供できていませんでした」と情報システム部部長の山崎真一氏は語る。

運用業務にも課題があった。情報システム部グループIT環境課課長の後藤義明氏は、「設計書や運用マニュアルが整っていなかったため、運用業務の多くが属人化していました。その結果、一部の担当者に作業負荷が集中するなど、改善すべき状況がありました」と明かす。

これらの課題を解決するため、シチズン時計はオンプレミスのIT基盤をパブリッククラウドに移す決断をした。その理由は、「まずコストの低さ。そして、ハードウェアを持たずに済むこと。ハードウェアがなければ、老朽更新や保守の手間が不要になる」(後藤氏)からである。

しかし、すべてをパブリッククラウドへ一気に移行できるわけではなかった。情報システム部グループIT環境課担当課長の増田洋氏は、マネージドクラウドのabsonneを併用する理由に

ついてこう説明する。「パブリッククラウドに移行すると、業務システムによっては再構築が必要になります。それではクラウドへの移行が進まないで、まずは大半の業務システムをそのままの形で移行できるabsonneへ移し、その後、段階的にパブリッククラウドへ移行する計画としました。マルチクラウド対応のNSFITOSであれば、システムに合わせて最適なクラウドを選択できる柔軟性があります」

### アウトソーシングで省力化 浮いた時間を企画業務に回す

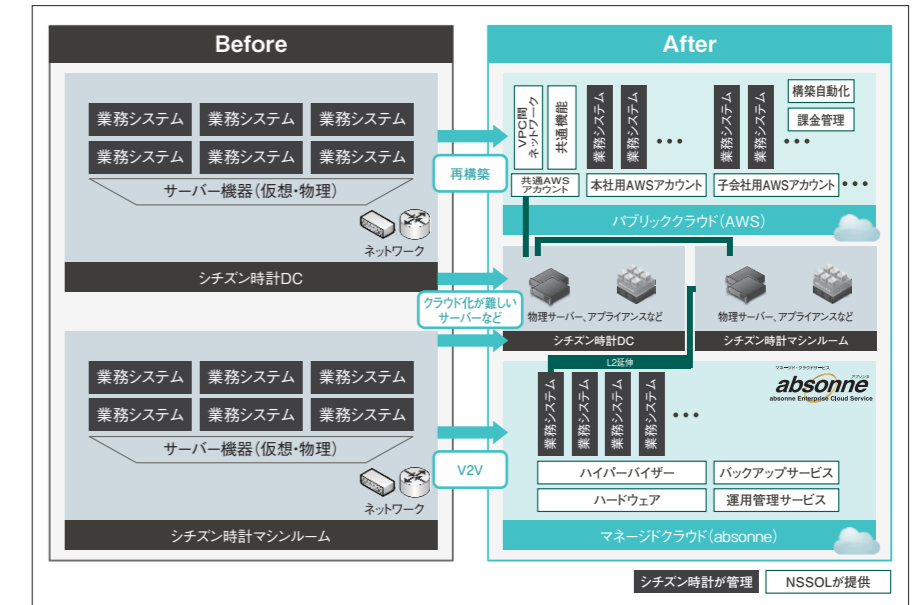
コロナ禍にもかかわらず、プロジェクトは順調に進んだ。「NSSOLにプロジェクト管理を支援してもらったことで、予定通りに進められました。運用手順書などのドキュメントが整備されていなかった点についても、NSSOL

が中心となって運用手順のヒアリングと文書化を進めてくれました。これは、今回のプロジェクトにおける大きな成果の1つです」と後藤氏は語る。

増田氏も、「IT基盤の運用管理だけでなく、ユーザー管理などのノンコア業務をNSSOLにアウトソーシングできたため、これまで月に何百件も発生していた各種のユーザー対応業務から解放されました。業務負荷は大幅に下がっています。ここで生まれた余力は、より重要な企画業務などに回せるようになりました」と評価する。

今後について山崎氏は、「新しいIT基盤をグループ各社に使ってもらい、シチズングループ全体としての最適化を進めていく必要があります。具体的な目標値は検討中ですが、当社がシステムの約8割を新しいIT基盤に移すのと同程度の活用を、グループ各社にも促していきたいと考えています。そのための準備をNSSOLと一緒に進めているところです」と話す。

### シチズン時計における業務・基盤システムのクラウド移行



### コアテクノロジー

ITアウトソーシング、クラウドサービス (AWS, absonne)、次世代運用サービス (emerald)

### システム概要

●ITアウトソーシングサービス：NSFITOS (エヌエスフィッツ)